

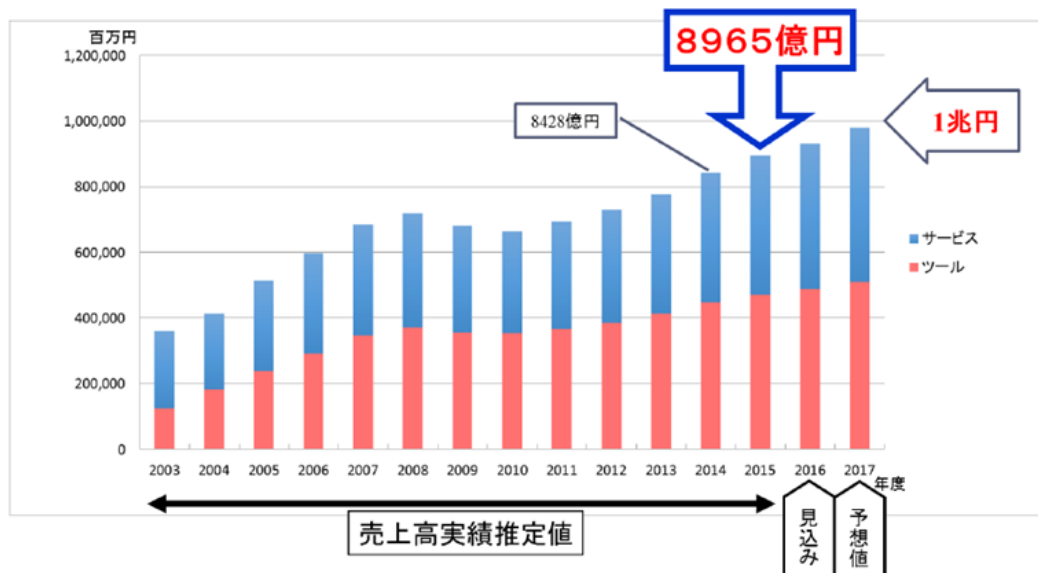
S k e e d、イノベーション・ファームと協業し、 大容量・グローバルなデータ転送にも有効な 情報セキュリティソリューションを開発

ネットワークソリューションを開発・販売する株式会社S k e e d（スキード）（本社：東京都目黒区、代表取締役 CEO：明石 昌也、以下S k e e d）は、本日、独自の秘密分散技術などを開発・販売する株式会社イノベーション・ファーム（本社：東京都千代田区 代表取締役会長：竹本 豊治、以下イノベーション・ファーム）と協業し、両社のネットワーク技術を活用した情報セキュリティソリューションを開発することを発表しました。

【概要】

あらゆる情報がデジタルデータとしてインターネット上を流れる今日、その漏えいや改ざん、破壊・消失といった脅威は一層の高まりを見せています。特に近年では既存のセキュリティ対策では防ぎきれないランサムウェアなども拡大傾向にあり、2016年には個人情報漏えいだけで想定被害総額約2,800億円、1件当たり平均想定被害額は約6億3千万円（※1）に上っています。また、リスク対策強化の必要性から国内関連市場規模も拡大基調を続けており、2017年には1兆円規模に達するとも予想されています。（下図参照）

国内情報セキュリティ市場規模 経年推移



引用：2016年度情報セキュリティ市場調査報告書（NPO 日本ネットワークセキュリティ協会）

こうした中で、イノベーション・ファームは独自の秘密分散技術を応用し、低コストでありながらランサムウェアを含む未知のマルウェアなどへの感染を防ぐとともに、情報漏えいや破壊・消失といったリスクをも防ぐ画期的なセキュリティソリューション『Secure Explorer』を開発しました。

さらに、同製品にS k e e dの高速ファイル転送技術を組み込むことで製造業における3DCAD

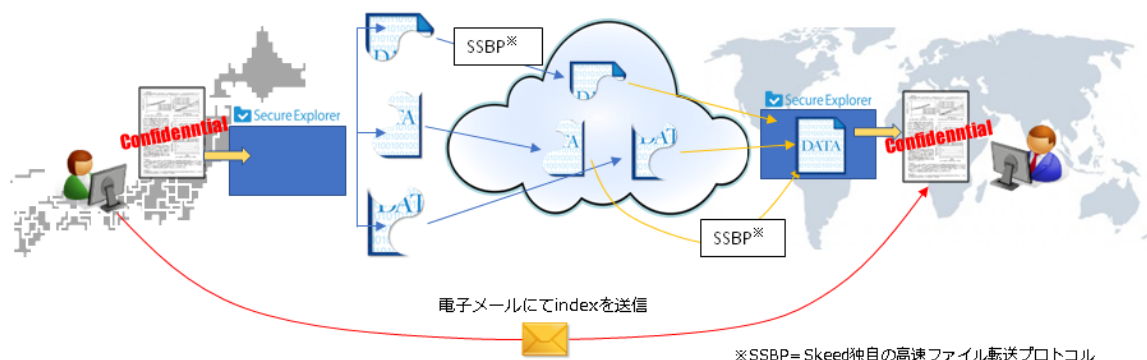
など大容量ファイルのセキュリティ対策においても生産性を損なうことなく、その脅威を劇的に下げることが可能となります。

使用例：グローバルセキュアデータ転送サービス

重要なデータを『安心、高速、簡単』に転送

企業間の重要かつ大容量のデータを高速で安全に転送します。

- ・ 海外拠点や国内での遠隔地との情報共有をスムーズに実現します。
- ・ 暗号化が禁止されている国へのデータ転送を安全に行えます。
- ・ SecureExplorerで管理されているファイルは秘密分散技術で無意味化されており、復号のためのインデックスを分離して目的地に送信しますので、絶対に情報が盗まれる事はありません。
- ・ 製造業におけるCADデータは3D化し、大容量になっておりますが、Skeedとの連携により大容量データも高速に送信可能



今後、両社はこの2つの独自技術を連携させることで、大容量ファイルや海外データセンタを活用したグローバルなデータ転送、情報共有といった業務におけるセキュリティ対策の向上に寄与して参ります。

※1：2016年情報セキュリティインシデントに関する調査報告書（NPO 日本ネットワークセキュリティ協会）

【イノベーション・ファームの Secure Explorer について】

『Secure Explorer』は安全性(セキュリティ)と可用性・利便性を両立した画期的なセキュリティソリューションです。Windows エクスプローラのような簡易な操作性を持ち、秘密分散法の活用により、未知のランサムウェア（マルウェア）が侵入しても絶対(100%)活動できないファイルに分割変換し無害化させます。また、無意味化したファイルから情報は確認できないため、情報漏えいも防ぎます。さらにBCPやDR対策としても有効です。

-Secure Explorer 紹介サイト：http://www.innov-firm.co.jp/product_secureExplorer.html

【Skeedの高速ファイル転送ソリューションについて】

Skeedの高速ファイル転送ソリューションは、長距離通信や回線品質の劣化に伴い伝搬遅延を来すというTCPの欠点を克服するため、特許技術である動的帯域制御機能を持つ独自のファイル転送プロトコル SkeedSilverBulletProtocol、(以下SSBP)を実装したソフトウェア製品およびサービスです。SSBPを用いることで、他の通信と公平に共存しつつ、通信距離やファイル容量を気にすることなく、FTPの数十倍といった大容量高速ファイル転送を実現します。

- Skeed 高速ファイル転送ソリューション紹介サイト：<http://skeed.jp/product/>

■ 株式会社イノベーション・ファーム：<http://www.innov-firm.co.jp/index.html>

ICTのトレンドは今後、「クラウドコンピューティング」「モビリティ(SMD)」「ソーシャル技術」「各種データ(ビッグデータ/ソーシャルデータ/オープンデータ)」の4つの構成要素の第3のプラットフォームが主流となります。

しかし、クラウドの活用に関して第三者へ情報を預ける事に対する不安を持つ企業は少なくありません。情報資源の有効活用や TCO の削減を真剣に検討する上でクラウド活用は必須となります。クラウドをより有効に活用するには、企業の機密情報や個人情報或いは著作権情報を守り、且つ情報伝達を迅速・的確に行う事が重要になります。

当社は高い情報セキュリティ性と利活用性に優れたソリューションを提供します。また、混在する OS 環境でも One リソースで管理可能なアプリケーションを提供します。

■ 株式会社 S k e e d (スキード) : <http://www.skeed.co.jp/>

S k e e d は独自の高速データ転送技術と P2P アーキテクチャをベースとした自律分散コンピューティング技術により、高効率でセキュアな純国産のネットワーク・ソリューションを開発・販売しています。更なる広がりを見せるクラウドコンピューティングやビッグデータ、IoT 時代において必須となる真のコアバリューを提供しています。



S k e e d は 2013 年に Red Herring Global Top100 Company に選出されました。

<http://www.redherring.com/events/red-herring-global/rhg2013winners/>

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社 S k e e d (スキード) 広報担当 : 松岡

TEL : 03-5487-1032 E-mail : pr@skeed.co.jp

※ 本リリースに掲載されている製品名、会社名などの固有名詞は各社の商標または登録商標です。